

# 第4回生産管理国際大会

## 統一論題

### SDGs時代における生産管理

## The 4<sup>th</sup> International Conference on Production Management

### Conference Theme:

### Production Management in SDGs Age

開催日程： 2019年9月7日(土)～9月8日(日)  
開催場所： 愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス  
(受付) 1階入口ホール  
(住所) 〒464-0044 名古屋市千種区自由ヶ丘2丁目49-2  
(電話) 052-757-0810 (代表)  
(アクセス) 地下鉄東山線「名古屋駅」から乗車、「本山駅」で下車後、  
地下鉄名城線へ乗り換え「自由ヶ丘駅」で下車、徒歩1分

国際大会 Web サイト： <http://e-jspm.com/international-conference/>

問合せ先 E-mail： [icpm@e-jspm.com](mailto:icpm@e-jspm.com) 大会組織委員長： 近藤 高司 (愛知工業大学経営学部)

### 統一論題の趣旨

持続可能な開発目標 (SDGs) は、地球上のすべての人々にとって、より良い持続可能な未来を達成するためのものである。ソーシャルイノベーションは、社会進歩を支えるための挑戦的かつシステムチックな社会及び環境問題への効果的な解決策を形成・発展させるプロセスである。既に、世界中で多様なテクノロジーが革新・応用され、拡がり、結びつけられている。そのような中で、今後は、製造業からサービス産業・農業に至るまで、人々の利益のために、短納期で適切な価格の商品やサービスを提供するためのテクノロジーを適合させる必要がある。さらに、そのテクノロジーは生産性を向上させ、また、世界の人々の健康で安全な生活環境の改善のために活用される必要がある。加えて、段階的に発展するテクノロジーの背後にある思想は、常に見直され、吟味され、また新しい方法に適合しなくてはならない。

そこで、本大会では、SDGs の目標達成への取り組みにおけるソーシャルイノベーションについて追究することとする。

### サブテーマトラックとテーマの例

オペレーション・サプライチェーンマネジメント	マネジメントと社会	情報技術
<ul style="list-style-type: none"><li>・ プロセス技術</li><li>・ TPS(トヨタ生産方式), TQM, Kaizen</li><li>・ 農商工連携</li><li>・ サービス産業の効率性</li><li>・ 環境保全技術</li><li>・ 廃棄物管理</li><li>・ 産業管理手法</li><li>・ アジャイルサプライチェーン</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ SDGs, ESG</li><li>・ サステナビリティ</li><li>・ リスクマネジメント</li><li>・ 人的資源管理</li><li>・ 技能資格制度</li><li>・ 卓越した業績を生む仕組み</li><li>・ プロジェクトマネジメント</li><li>・ 社会起業家</li><li>・ 産業統合</li><li>・ 企業改革</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ IoT(Internet of Things)</li><li>・ スマートインテリジェントシステム</li><li>・ スマート農業</li><li>・ 3D プリント技術</li><li>・ 生物工学</li><li>・ アナリティクス</li><li>・ 人工知能</li><li>・ ロボット技術</li><li>・ センシング技術</li><li>・ 実現技術</li></ul>

使用言語：英語

## 発表申込方法

- ・国際大会Webサイトの発表申込フォームに、発表のタイトル、アブストラクト（英文200ワード以内）等の必要事項を入力して、**2019年3月31日まで**にお申し込みください。
- ・提出されたタイトルとアブストラクトは、学術及びプログラム委員会で審査します。申込者には、アブストラクトに基づくアクセプトランスを**2019年4月15日まで**にE-mailでお送りします。

## 大会発表論文(2ページの発表概要又は4ページのフルペーパー)の提出

- ・大会発表論文の原稿のページ数は、アクセプトランス（受理通知書）の種類別に次の通りとします。  
アブストラクトに基づくアクセプトランスを希望する場合：**2ページ**  
フルペーパーに基づくアクセプトランスを希望する場合：**4ページ**
- ・大会発表論文の原稿は、国際大会プロシーディングス（予稿集）用のテンプレートを使用し、MS-WordとPDFの両ファイル形式でカメラレディ原稿として作成し、国際大会Webサイトより投稿してください。テンプレートは、国際大会Webサイトよりダウンロードしてください。
- ・フルペーパーに基づくアクセプトランスを希望される方は、**2019年7月15日まで**にフルペーパーを投稿してください。
- ・提出されたフルペーパーは、学術及びプログラム委員会で審査し、フルペーパーに基づくアクセプトランスを**2019年8月15日まで**にE-mailでお送りします。

## 発表申込・投稿日程

アブストラクトによる発表申込受付	2019年1月10日～3月31日
アブストラクトに基づくアクセプトランス発行	2019年4月15日まで
4ページのフルペーパーの投稿受付 (フルペーパーに基づくアクセプトランスを希望する場合)	2019年5月1日～7月15日
2ページの発表概要の投稿受付 (アブストラクトに基づくアクセプトランスのみ希望する場合)	2017年5月1日～7月31日
フルペーパーに基づくアクセプトランス発行（希望者のみ）	2019年8月15日まで

## 参加申込方法

- ・本大会に参加を希望される方は、国際大会Webサイトより、事前に参加申込をしてください。
- ・発表者も参加申込が必要です。

## 参加登録の日程及び費用

参加登録費 (フルペーパーに基づくアクセプトランスを希望する場合)	20,000円	2019年1月10日～7月31日
参加登録費 (アブストラクトに基づくアクセプトランスのみ希望する場合)	7,000円	
情報交換会(バンケット)参加費	6,000円	
弁当代(土曜日)	1,000円	
弁当代(日曜日)	1,000円	

(注) 1. 情報交換会参加費及び弁当代は、登録参加費に含まれません。

2. 国際大会プロシーディングス（予稿集）は、PDF ファイルをダウンロードする方式で提供します。

## 参加費支払方法

- ・参加費は、郵便局に備え付けの郵便振替用紙を使用して、以下の口座へお払い込みください。  
郵便振替貯金 口座番号：00800-1-148956 口座名義：日本生産管理学会全国大会  
インターネットバンキング等をご利用の場合：ゆうちょ銀行 ○八九店 当座預金 0148956  
※通信欄または振込人名の先頭には、必ず **Web 申込番号 (3桁)** をご記入ください。

## 日本生産管理学会第 50 回全国大会との関係について

本大会(第4回生産管理国際大会)と並行して、日本生産管理学会の第50回全国大会が、愛知工業大学自由ヶ丘キャンパスにおいて開催されます。以下の注意事項をご確認ください。

- 1) 英語で発表する場合は、国際大会に申し込みが必要となります。
- 2) 国際大会の参加者は全国大会聴講も可能です。また、全国大会の参加者も国際大会聴講が可能です。
- 3) 両大会の参加者は、両方の予稿集の PDF ファイルをダウンロードすることができます。
- 4) 国際大会発表者は、発表論文、プレゼンテーション資料、口頭発表ともに英語を使用します。

## 大会日程

2019年9月7日(土)

- 12:00- 受付開始
- 14:10-16:50 基調報告
- 17:00-19:00 情報交換会

2019年9月8日(日)

- 8:45- 受付開始
- 9:30-16:00 分科会(口頭発表)

## 大会運営組織

### 大会組織委員会

委員長	近藤 高司	愛知工業大学			
副委員長	梅村 彰	創和マネジメント			
委員	赤木 文男	福岡工業大学	委員	後藤 時政	愛知工業大学
〃	石倉 弘樹	大阪学院大学	〃	史 文珍	愛知工業大学
〃	石島 隆	法政大学	〃	杉本 和夫	杉本キャリア開発研究所
〃	三上 行生	北海道科学大学	〃	徳丸 宣徳	名古屋工業大学
〃	森 雅俊	千葉工業大学	〃	中野 真	金沢工業大学
〃	徐 祝洪	愛媛大学	〃	早川 周	愛知学泉短期大学
〃	石井 和克	金沢工業大学	〃	林 勝昭	戦略科学研究所
〃	石井 圭介	椙山女学園大学	〃	平野 憲康	シンクラボ
〃	石井 成美	愛知工業大学	〃	福井 幸博	(一社)北陸産業活性化センター
〃	石川 敦夫	金沢星陵大学	〃	坂倉 貢司	㈱セキデン
〃	岩崎 祐子	四日市大学	〃	藤井 勝紀	愛知工業大学
〃	石川 君雄	国際経営技術研究所	〃	藤井 春雄	㈱経営技術研究所
〃	大澤 美紀	キャリアコンサルタント	〃	星野 裕	(一財)日本規格協会
〃	小竹 暢隆	産学官連携エンジニアリングセンター	〃	美濃浦比佐雄	ドライ・マネジメント・オフィス
〃	大平 一哉	中小企業診断士	〃	宮野 正克	(特非)SDC 検証審査協会
〃	楓 森博	岐阜女子大学	〃	八代 弘	八代技術士事務所
〃	河崎 憲司	シー・エス・経営研究所	〃	山田 裕昭	東海学園大学
〃	國島 正浩	中小企業診断士	〃	和澤 功	ESD21/高度生産研究所

## 学術及びプログラム委員会

委員長	石倉 弘樹	大阪学院大学			
副委員長	石島 隆	法政大学			
委員	赤木 文男	福岡工業大学	委員	平野 健次	職業能力開発総合大学校
〃	Anshuman Khare	Athbasca University, Canada	〃	小竹 暢隆	産学官連携エンジニアリングセンター
〃	徐 祝洪	愛媛大学	〃	廣光 清次郎	広島修道大学
〃	森 雅俊	千葉工業大学	〃	久保 裕史	千葉工業大学
〃	小林 稔	福岡工業大学	〃	宋 宇	福岡工業大学
〃	税所 哲郎	国土館大学	〃	王 曉華	西南学院大学
〃	邵 忠	尾道市立大学	〃	藤川	法政大学

## アドバイザーボード

児玉 正憲	九州大学 名誉教授
澤田善次郎	澤田経営研究所 所長
福井 幸男	関西外国語大学 教授

以 上